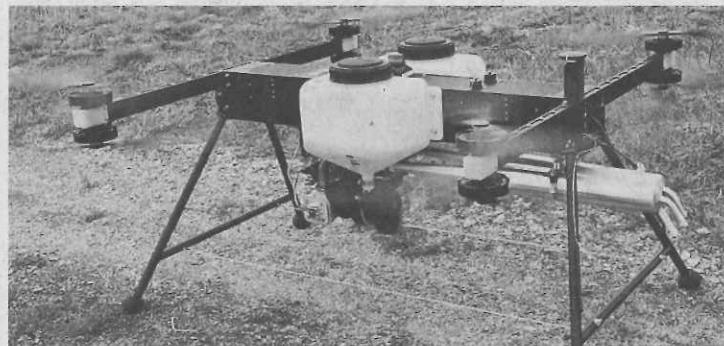


# 会沢高圧、ローン事業参入



会沢高圧コンクリートとベンチャー企業が開発した  
新型ドローン（同社提供）

米マサチューセッツ工科大発のベンチャー企業で、ボストンに拠点を置く「トップフライテクノロジーズ」と今年4月に共同開発の契約を締結。重さ10kgの荷物を積んだ状態で1時間飛行でき、風速15m/sの強風にも耐えられるドローンの開発に成功した。日本建築ドローン協会（東京）によると、一般的なドローンの飛行時間は15分程度で、1時間の飛行が可能なタイプは国内では珍しいという。

会沢高圧コンクリートは、8月から、開発したドローンを使い上川管内東神楽町へ

## 1時間飛ぶ機体 米企業と開発

【苦小牧】コンクリート製品製造道内大手の会沢高圧コンクリート（苦小牧）は、農業向けの小型無人機ドローン事業に参入する。2020年度から農作物の生育状況の確認や関連データの収集・分析のほか、用水路などの点検業務を始める予定。将来的には橋や道路などインフラ向けの利用も想定しており、経営を支える事業の一つに育てる計画だ。

（山田一輝）

## 来年度から 農業向けデータ収集・分析

でコメの生育状況を確認する試験を始める。目視に比べ広い農地でも短時間で正確に確認できるため、収量の的確な把握など作業の効率化が期待できるという。

ドローンに搭載した赤外線カメラで用水路を撮影し、人工知能（AI）でひび割れの有無などを解析す

る試験もあわせて実施。道内の各土地改良区などにも協力を依頼し、データ収集と分析を重ねて精度を高めた上で実用化に踏み切る運びだ。料金を含めた事業の詳細は今後詰める。

また、ひび割れなどを補修する噴射式のコンクリート補修材を搭載したドローンの開発に近く着手する。

同社の会沢祥弘社長は「来年実用化を目指したい」と話している。

## 災害時計画「策定」12%

### 道内企業 全国平均下回る

自然災害などを想定した

浮かび上がった。

事業継続計画（BCP）を「策定している」と答えた道内企業が前年比0・7㌽増の12・4%と、全国平均（15・0%）を4年連続で下回ったことが帝国データバンク札幌支店の調査で分かった。昨年9月の胆振東部地震を受けて策定を検討する企業は増加傾向にあるものの、知識不足などで具体的に進んでいない現状が

BCPは緊急時でも企業が損害を最小限に抑え、商品供給を続ける態勢づくりなどを定めた計画。調査では「策定していない」が前年比6・3㌽減の46・8%で初めて50%を下回った。「現在策定中」は1・2㌽増の7・0%、「策定を検討している」は5・4㌽増の23・7%だった。

具体的な計画内容として

## 空知信金、16日から01

【岩見沢】空知信用金庫（熊尾

事長）は、運転免許を自主返納し以上の高齢者を対象に金利を優遇期預金「悠悠自適」を16日発売す。高齢ドライバーによる相次ぐ交通事故につなげる狙いで、北海道財務省は対象者1人につき10万円以上2円まで。取扱期間は1年間。満期は通常金利に戻る。

運転免許証を自主返納した際に

れる「運転免許証明書」の所持者が通常の定期預金金利（1年物、現01%）に0・1%上乗せする。預定期間は1年間。満期は対象者1人につき10万円以上2円まで。取扱期間は1年間。満期は通常金利に戻る。

高齢ドライバーによる交通事故

京・池袋で4月に母子が死亡し、で6月に9人が死傷したことなど化。空知信金の担当者は「社会貢環として新設した。免許返納の手

## 免許返納で定期金利上乗せ

は「従業員の安否確認手段の整備」「情報システムのパックアップ」「緊急時の指揮・命令系統の構築」などが目立つ。

策定していない理由は「スキル・ノウハウがない」が43・6%で最多。「人材

%)、「実践的に画にすることが難

・1%)と続く。

「策定する人材や

補聴器の

ご相談承ります